

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 10 日

事業名称		スポーツ推進委員活動費 [スポーツ推進委員活動事業]										
予算科目	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	1	保健体育総務費	事業番号	2	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	社会教育 課 生涯学習 係					課長名	高田 匡章					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 5			
【施策名】 スポーツ・レクリエーションの推進								総合計画書(ページ)	43			
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	東大和市民					スポーツに興味のある市民の人数						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
この仕事の目的	スポーツに興味のある市民を増やす					スポーツに興味のある市民の人数						
	→											
	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	①定例会を11回開催し、各種スポーツイベントの企画、運営について話し合った。 ②スポーツ推進委員主催イベントを企画、運営し、市民がスポーツに親しみを持てる取り組みを行った。 ③市内の障害者施設と連携し、障害者スポーツの普及を図った。 ④市主催の各種スポーツイベントへの応援、協力を行った。					①定例会は、年11回開催した。 ②体力測定、ボッチャ大会等を企画、運営した。 ③3つの障害者施設と連携し、ボッチャ競技を体験するイベントを企画、運営した。 ④ふれあい市民運動会(中止)、ロードレース大会、多摩湖駅伝大会(中止)の運営委員会等に参画するとともに、当日の運営にも協力した。						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337						
	成果指標	②の数値	人	—	—	—						
	目 標	②の目標値										
		目標値設定の考え方										
3 経費	活動指標		③の数値	回	25	22	23					
	事業費(実績)		円	3,058,790	3,655,222	3,030,193	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	3,058,790	3,655,222	3,030,193						
		特定財源	円									
		(うち受益者負担)	円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3						
		所要人数(再任用)	人									
職員人件費(再任用以外)		円	2,475,900	2,473,200	2,493,000							
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	5,534,690	6,128,422	5,523,193							
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和37 年度											
	(2) 環境の変化 スポーツ振興法第19条に基づき、東大和市体育指導員に関する規則が、昭和37年4月1日に施行された後、平成23年4月1日に全面的に改正され、スポーツ基本法が施行された。 スポーツ基本法第32条に基づき、平成23年9月1日に東大和市スポーツ推進委員に関する規則が施行され、市のスポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整、住民に対するスポーツの実技指導及びその他スポーツに関する指導・助言を行うことを目的として活動している。 近年では、東京2020年オリンピック・パラリンピック競技大会が目前となり、ボッチャ等の障害者スポーツに対しての需要が高まっており、スポーツ推進委員の役割がますます重要となっている。											

事業名称	スポーツ推進委員活動費 [スポーツ推進委員活動事業]			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 高田 匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 障害者を持つ方と持たない方が参加できるスポーツイベントでは、多くの参加者から好評を得ており、次回も参加したいとの意見があった。 また、障害者スポーツであるボッチャ体験会では、東京2020パラリンピックの正式種目であることから、参加された方は時間を忘れて取り組んでいた。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 スポーツに関する深い関心と理解を持ち、かつ熱意ある市民にスポーツ推進委員を委嘱している。 現在委嘱しているスポーツ推進委員は、いずれも経験豊富で引き続き従事することを承諾している。			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） イベント毎に様々な反省点があるため、それを改善しながら、市内のスポーツ振興を図る。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 スポーツ推進委員同士での密な情報伝達を行い、さらに市事務局との連携を図ることで、イベントへ迅速に対応した。 また、実施事業での反省点を、各委員が改善すべき事項として検討し、事業実施に活かせるよう取り組んだ。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 事業実施にあたっては、スポーツ推進委員同士の連絡が必要不可欠であるため、引き続き連絡体制の構築を図る。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： スポーツ・レクリエーションの推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 反省点があれば、同一事業以外においても改善策を検討しつつ実施し、年間を通してより良い事業形態を模索する。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 スポーツ推進委員の活発な意見交換ができるよう、資料の提供や、環境の整備を図る。			